



特集

「胃ろうをつけた あの人」のこと

特集タイトルをテーマに募集した懸賞論文に、100通近くの応募をいただきました。

高齢者の「胃ろう」の是非が社会問題として問われる昨今、

現場の専門職、そして本人・家族は、胃ろうについてどう感じ、どう考えているのか、

1人ひとりの声をできるだけ多く集めたいと立ち上げた企画です。

応募作の1つひとつから、それぞれの胃ろうへの思いや考え、さまざまなケア方法、

そして、「あの人」の多様な生き様が透けて見えてきました。

本号では、そのなかから、大賞1本のほか、各賞2本、最終選考に残った9本の計12作品を掲載します。

各賞は、専門職編を、訪問看護師の秋山正子さん『在宅ケアのはぐくむ力』ほか)、

本人・家族編を、胃ろうをつけたご家族を自身も在宅で看取られた

川口有美子さん『逝かない身体』ほか)に選んでいただきました。

全国から寄せられた千差万別の物語が、

「あの人」に、自分に、そして胃ろうに、改めて向き合ってみる機会になれば幸いです。